

授業科目	フィジカルアセスメント技術Ⅰ	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	呼吸、循環、体温の測定技術を習得し、呼吸器系・循環器系のアセスメント方法を学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	フィジカルアセスメント総論1)	フィジカルイグザミネーションとは フィジカルアセスメントとヘルスアセスメントのちがい フィジカルアセスメントの目的 フィジカルアセスメントの流れ			講義	本校教員			
2	フィジカルアセスメント総論2)	バイタルサインとは 触診と手技 打診とその手技 聴診とその手技 聴診器の構造とその使用			講義・演習				
3	呼吸系のフィジカルアセスメント	呼吸とは 呼吸音の聴取部位			講義				
4		呼吸音を聴取する（正常と異常のちがい） 呼吸の測定方法			校内実習				
5					校内実習 シミュレーター				
6	循環器系のフィジカルアセスメント	脈拍の測定部位 （脈拍数とリズムの正常） 心音を聴取する 心音の正常			校内実習 シミュレーター				
7		血圧とは 血圧測定の方法（触診法と聴診法） 触診法の実際			講義 校内実習				
8		血圧測定（触診法と聴診法）			講義				
9	体温とその調節のしくみ	体温とは 体温の測定部位と特徴 体温の測定方法			講義 校内実習				
10	バイタルサイン測定	バイタルサイン測定の実際			講義・演習				
11		バイタルサイン測定 一連の測定			講義 校内実習				
12		バイタルサイン測定（体温・脈拍・呼吸・血圧測定）と呼吸音の聴取			講義 演習				
13		バイタルサイン測定（体温・脈拍・呼吸・血圧測定）と呼吸音の聴取の実際			校内実習				
14		定期試験(90分)							
15	実技試験	体温・脈拍・呼吸・血圧測定							

授業科目	安楽援助技術	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期	
科目目標	療養環境を整え安楽に過ごすための基本技術を習得する。									
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）				
1	安楽な姿勢と体位の保持	よい姿勢 ボディメカニクス 体位 体位保持（ポジショニング）			講義 グループワーク	本校教員				
2										
3	環境調整技術	療養生活の環境 病室の環境のassessmentと調整 ベッド周囲の環境整備 ベッドメイキング			講義 グループワーク 校内実習					
4										
5										
6										
7	移動の援助	体位変換 歩行 移動・移送、車椅子、ストレッチャー			講義 校内実習					
8		ベッドから車椅子への移動			校内実習					
9	睡眠・休息の援助	睡眠の種類 睡眠障害のassessment 睡眠・休息の援助			講義 グループワーク					
10										
11	コミュニケーション技術	コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの構成要素と 成立過程 関係構築のためのコミュニケーションの基本			講義 演習					
12										
13										
14	実技試験	ベッドメイキング								本校教員
15	定期試験(90分)									本校教員

授業科目	内部環境調整技術Ⅰ	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	食と排泄機能を整え身体的、心理的に良好な状態に整えるための基本技術を習得する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	おいしく食べるとは	1) 生理的意義 2) 社会的意義 3) 心理的意義			講義	本校教員			
2	おいしく食べるためのアセスメント	1) 栄養状態 2) 水分・電解質バランス 3) 食欲 4) 摂食・嚥下能力 5) 食事行動 6) 患者の認識			講義 演習				
3	おいしく食べるための援助	1) 咀嚼の体験 2) 嚥下の体験 3) 臨床患者の食事介助			講義 校内実習				
4									
5	経管栄養の援助	1) 経管栄養 2) 経鼻胃管と胃瘻 3) 経鼻胃管の挿入 4) 経管栄養の注入方法			講義 (校内実習)				
6	快く排泄するとは	1) 排泄の意義 2) 自立した排泄行動 3) 排泄に支障をきたすことによる心身の変化 4) 入院に伴う排泄への影響			講義				
7	排泄援助のアセスメント	1) 排泄行動に影響を与える因子 2) 排泄援助の必要性を判断する視点			講義				
8					講義				
9	排泄援助の選択と方法	1) トイレ介助 2) ポータブルトイレ 3) 床上排泄（尿器・便器）			講義				
10	排尿・排便困難時の援助	1) 一時的導尿の適応と方法 (女性・男性の一時的導尿) 2) 持続的導尿の適応と方法			講義				
11	排尿困難時の援助	1) 導尿の方法と実際 ・デモンストレーション ・女性の導尿の実際			校内実習				
12	排尿困難時の援助	1) 導尿の方法と実際 ・女性の導尿の実際			校内実習				
13	自然排泄を促す	対象に応じた排泄援助のアセスメント 1) 腸蠕動音の聴取 2) 腹部マッサージ 3) 温電法			校内実習				
14	排便困難時の援助	1) 浣腸の方法と実際 ・デモンストレーション ・浣腸の実際			校内実習				
15	定期試験(90分)								

授業科目	内部環境調整技術Ⅱ	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	皮膚・粘膜・呼吸の状態を整え、恒常性を維持するために必要な基本的な技術を習得する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	浮腫・脱水 酸塩基平衡	体液の恒常性 浮腫・脱水のアセスメントと援助 アシドーシス・アルカローシス			講義	本校教員			
2									
3	呼吸状態の アセスメント	正常な呼吸と異常呼吸 呼吸困難の分類・原因・誘因			講義				
4	呼吸を楽にするための援助	酸素療法 吸引 体位ドレナージ			講義 校内実習				
5									
6	身体を清潔にする意義	身体を清潔にする意義 皮膚・粘膜の生理機能			講義				
7	口腔内の清潔	臥床患者の歯磨き方法 臥床患者の含嗽			講義 校内実習				
8	部分浴	手浴 足浴 温湯の効果とバイタルサインの変動			講義 校内実習				
9	洗髪	ケリーパッドを用いた洗髪			講義 校内実習				
10	全身清拭	気持ちよくきれいになる全身清拭 臥床患者の寝衣交換（和式寝衣）			講義 校内実習				
11									
12									
13	陰部洗浄	臥床患者の陰部洗浄							
14	定期試験(90分)								
15	実技試験	全身清拭・寝衣交換							

授業科目	診療補助技術 I	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	30時間	開講		通年						
科目目標	感染予防と検査に伴う基本技術を習得する。															
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）									
1	医療における安全	医療事故を考える リスクマネジメント 患者の安全と看護師の責任				講義	本校教員									
2	感染の概念	感染と感染症 感染経路 感染防御機能				講義										
3	感染防御	スタンダードプリコーション 感染経路別予防策				講義										
4	感染防御技術	衛生的な手洗い スタンダードプリコーションの実施				講義 校内実習										
5	無菌操作	清潔と不潔 消毒と滅菌 無菌操作				講義 校内実習										
6																
7	検査の意義	検査の意義 診察・検査を受ける患者の心理 検査における看護師の役割				講義	本校教員									
8	検査の種類	検査の種類				講義										
9	身体計測	身体計測の意義・目的 身体計測の留意点 身体計測の実際				講義 校内実習										
10	検体検査	検体の採取方法（採尿、喀痰など） 検査値の見方、アセスメント				講義										
11	生体検査	生体検査時の援助方法（種類、方法、援助） レントゲン、エコー、心電図、脳波など				講義										
12	静脈血採血	静脈血採血の実際				講義 校内実習										
13																
14	穿刺検査	穿刺検査時の援助方法				講義 校内実習										
15	定期試験(90分)											本校教員				

授業科目	診療補助技術Ⅱ	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	30時間	開講		後期						
科目目標	与薬に必要な基本技術を習得する。															
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）									
1	薬物療法と看護	与薬における看護師の役割 与薬方法と効果の観察				講義	本校教員									
2	内用薬の与薬	種類と特徴 与薬方法（経口、口腔内） 処方箋の取扱い				講義										
3	外用薬の与薬	種類と特徴 与薬方法（直腸内、吸入）				講義										
4	輸液・輸血の管理	種類と取扱い方法 輸液・輸血の管理方法 副作用（有害事象）の観察				講義										
5	中心静脈栄養法	適応と特徴 中心静脈栄養法施行中の管理				講義										
6	注射法の基礎知識	注射の種類と特徴				講義										
7		注射器の取り扱い 注射実施の過程 注射実施に関わる法的責任				講義										
8	安全な注射の実施	注射実施の過程 注射実施に関わる法的責任 安全な注射部位 注射実施の援助方法				講義 校内実習										
9		①皮内注射・皮下注射 ②静脈内注射 ③筋肉内注射														
10																
11	点滴静脈内注射	目的と吸収機序 適した注射部位 用いられる輸液剤と注射針の種類 輸液セットの準備 輸液速度の調整 点滴静脈内注射施行中の寝衣交換				講義 校内実習										
12																
13																
14	定期試験(90分)															
15	実技試験 注射器の取り扱い、薬物の準備、血管内への注射															

授業科目	地域生活論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	15	開講	後期
科目目標	公衆衛生看護活動の中でも特徴的な集団や地域社会を対象とした公衆衛生看護活動をおこなうための基礎的能力が理解できる。 ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康で暮らしやすい地域づくりをめざした公衆衛生看護活動の目的と方法について理解できる。 地域の健康課題を把握し施策化するとともに、集団及び地域社会を対象とした公衆衛生看護活動を行うための基礎的能力を養う。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	社会環境の変化と地域看護	定義・目的 生活環境の変遷と健康課題の変遷			講義	非常勤講師			
2		対象となる個人・家族の捉え方と対応の仕方							
3	健康について	健康の概念・予防の概念 地域の健康課題の把握方法（理論と展開）							
4	様々な場における地域看護活動の実際	行政保健（保健所・市町村）の役割と意義 学校・職域の役割と意義 医療保険者による健康づくり活動の役割と意義							
5	公衆衛生の基盤となる概念	公衆衛生看護管理 プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション							
6	健康危機管理と地域看護活動	疫学を活用した公衆衛生活動の意義 感染症のコントロール							
7	保健医療福祉政策の動向と公衆衛生活動の歴史	保健医療分野の国際機関と動向 日本の国際協力 国際活動・保健活動							
8	定期試験（60分）								

授業科目	在宅看護概論	分野	統合分野	単位数	1単位	時間数	15時間	開講		後期	
科目目標	在宅看護の対象を理解し、在宅看護の役割を学ぶ。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	在宅看護の目的と特徴	在宅看護の目ざすもの 在宅看護における看護師の役割 『ラスト・ドクター』				講義 動画視聴	本校教員				
2	在宅看護の対象者	対象者の特徴 在宅看護の提供方法				講義 DVD視聴					
3		在宅看護の対象者としての家族 家族への支援				講義 グループワーク					
4	在宅看護における 看護師の倫理	在宅看護における倫理的課題 『在宅医療の風』				講義 グループワーク 動画視聴					
5	在宅看護に関わる 法令と制度	介護保険制度、医療保険制度、訪問看護の制度				講義					
6		訪問看護ステーションに関する規定と管理・運営				講義 DVD視聴					
7		社会資源 多職種連携				講義 DVD視聴					
8	定期試験（60分）										



授業科目	成人看護学概論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	成人期にある人々の特徴及び健康問題を理解し、成人看護の役割を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	1. 成人期の対象	1) ライフサイクルにおける成人期の位置づけ 2) 成人各期の区分と発達課題			講義	本校教員			
2	2. 成人期にある人々の特徴	1) 成人各期の特徴と健康問題 ① 身体的特徴 ② 精神的特徴 ③ 社会的特徴 ④ 健康問題			講義 グループワーク				
3									
4	3. 成人の健康問題	1) 成人の生活と健康破綻 ①食生活 ②喫煙 ③飲酒 ④運動不足 ⑤ ストレス ⑥ 休養・睡眠 2) 健康破綻の予防と対策			講義 グループワーク				
5									
6									
7	4. 成人期の主な病気と予防	1) 生活習慣病の発生過程と予防 ①健康日本21と一次予防、二次予防、三次予防			講義 グループワーク				
8									
9									
10	5. 健康問題に取り込む過程と援助	1) 心理的側面からの適応 ①疾病の社会心理的適応の段階			講義 グループワーク 発表				
11									
12	6. 成人看護の役割	1) 成人の健康上の問題 2) 成人看護の役割			講義 グループワーク 発表				
13									
14	7. 成人保健・医療・福祉の動向	1) 人口静態・動態 死亡の動向 2) 健康状態と受療状況			講義 グループワーク 発表				
15	定期試験（90分）								